

政務レポート

りれししよん

2015年3月12日
鳥取県議会議員
砂場隆浩
鳥取市片原1-107

「Relation」とは1605年、ストラスブールでヨハン・カロルスが世界で初めて創刊した新聞です。直訳すれば「関係」。このレポートで県民の皆様と良い関係を築ければと願っています。

県政のシンクタンク「会派希望」

200超の政策提言実現

伊藤美都夫県議が勇退へ

総額3335億円の一般会計当初予算案など67議案を可決して2月定例議会が3月12日閉会しました。任期最後の定例会です。私が属する会派希望(のぞみ)は県議5人の第二会派として存在感を示してきましたが、伊藤美都夫県議が勇退され、川部洋さんが新しい仲間を目指しています。これからも会派希望は県政の政策集団として、県民の皆様のために未来志向で頑張って参ります。

現場主義を徹底、全国を奔走

県議会会派希望は2013年10月、会派自民党を離脱した伊藤美都夫県議、横山隆義県議に、森岡俊夫県議、国岡智志県議と私が合流して活動を開始。会長に横山県議、政調会長に私が就き、これまでも増して現場主義に徹して議員活動を続けてきました。

福島県の漁協、畜産家、仮設住宅を訪れて話を伺い、函館市が大間原発建設差止め訴訟を提訴すると北海道へ飛んで工藤市長と面談。スカイマークの撤退が

噂されると上京して西久保社長(当時)に路線継続を訴



左から会派希望の国岡総務会長、森岡幹事長、伊藤元議長、横山会長、そして政調会長の私

えるなど、直接当事者にお会いすることを大切にしてきました。

県民の皆様から話をお聞きすることを何より大事に考え、県内各地に出かけ、業界団体や福祉団体等の皆様を県議会にお招きもし、県政への要望をお聞きしました。その結果は、本会議や委員会の質問に加え、会派要望としてまとめて知事に提出。実に200を超える政策提言が予算化され、制度が新設されました。

オランダのワーヘンゲン地方をお手本にしたフードバレー構想は、県の主要政策に採用されました。司令塔になる産官学金が連携するフードコンソーシアムを設立。産業技術センター食品開発研究所に商品開発棟を新設し、食品の安全性を保証する国際認証の取得費の助成制度も始めました。公共事業の発注の平準化、制度融資の保証料減免などを実現。日本初のお泊りデイサービスガイドライ

ンなど介護や子育てもリードしてきました。

本会議でも毎回統一テーマを掲げて質問戦を展開。様々な国への意見書を会派として議員提案しました。議案や意見書に対して賛否の理由をはっきりさせるために本会議で登壇して討論も続けました。会派希望は「県政のシンクタンク」としての存在感を示せたと自負しています。

横山会長、伊藤県議には様々御教示いただき、心から感謝しています。学ばせていただいたことを糧にさらなる飛躍を目指したいと思います。伊藤県議は精力的に議員活動を展開されており、勇退は残念です。替わって元倉吉市議の川部洋さんが会派希望への加盟を目指したいと表明されています。川部さんは49歳。鳥取大学院に学んだ後、明倫まちづくり合同会社を設立。ミツバチプロジェクトなどを進められています。